

## 広島大学文学部編入学試験 筆記試験 解答例又は出題の意図等

分野	西洋哲学
----	------

I

(1) — 1

単語・イディオムの知識に基づいて構文および文意の正確な読み取りができていますか。

(1) — 2

理由①：個別的言明から（普遍的）理論体系への帰納は不可能であるため、検証可能性を経験科学の理論体系の条件として要求することはできない（それを経験科学の条件とすると、経験科学は科学ではないことになってしまうから）。

理由②：他方で、経験的にテストできることは、科学が科学であるための条件であり、そのテストとなるのが反証可能性である。

(2) および (3)

単語・イディオムの知識に基づいて構文および文意の正確な読み取りができていますか。

分野

西洋哲学

## II

(1) アリストテレスが、『範疇論 (カテゴリーイ)』で用いる用語で、「この人」や「この馬」のように、個物をさす第一実体に対して、「人」や「馬」のように、より普遍的な実体を表わす。しかし、アリストテレスは、『形而上学』など、『範疇論 (カテゴリーイ)』以外では、端的に、普遍 (カトルー) という表現しか用いておらず、第二実体という表現は『範疇論 (カテゴリーイ)』にしか現れないので、『範疇論 (カテゴリーイ)』の真作性を疑う学者の論拠にもなっている。

(2) 中世論理学の意味論で論究された代示理論のひとつ。代示は代表とも訳される。代示は、命題の中で語が何かを表示するはたらきであり、大きくわけて三種類ある。そのひとつが単純代示で、語が表示する普遍的存在者を代示する、とされる。「人は種である」という場合の「人」がこれにあたる。ただし、普遍をどう捉えるかという立場によって、普遍的存在者の内実が異なる。他に、個体を代示する個体代示と、音声や文字である語そのものを代示する質料代示が区別される。

(3) 「所与(given)」は、概念や推論によって媒介されることなく、我々に直接に与えられているものを指す言葉である。「所与の神話」とは、ウィルフリド・セラーズが『経験論と心の哲学』において「所与」というものがこれまで無批判的に想定されてきたことを批判するために用いた言葉である。『経験論と心の哲学』では、セラーズは所与としてのセンス・データを批判的に検討しているが、セラーズによると、所与には物理的対象、普遍、命題、第一原理なども含まれる。

(4) 「ホモ・サケル」とは、ラテン語で「聖なる人間」という意味の、ローマの古法に由来する言葉で、ジョルジョ・アガンベンが主権によって例外状態に置かれた人間を指すために用いた言葉である。アガンベンによれば、主権によって例外状態に置かれた人間は、法によって法の外に置かれることになり、結果、その人間を殺害しても罪に問われることはないが、神に捧げられる生贄として犠牲にすることもできないという。殺害可能性と犠牲化不可能性の交点に位置するのがホモ・サケルである。

(5) 19世紀後半から20世紀初頭の哲学的潮流の一つ。ドイツではジンメル、オイケン、ディルタイら、フランスではベルクソンら、アメリカではジェームズの名が挙げられる。物質-精神、主観-客観という近代哲学の二元論的枠組みを越えて、生成し流動する生という根本事実を直観し解釈することを共通の特徴とする一方、思想家によって生物学的・歴史的・文化的等のさまざまな色彩を持つ。

(6) 現象学の創始者フッサールの用語。前期思想を特徴づける本質的存在への還元では方法として不十分であるとして、中期フッサールは、形相的還元に加えて、超越論的還元、すなわち存在ならざる存在領域である超越論的主観性への還元の必要を訴えた。

## 分野

## インド哲学・仏教学

## I

- 1 (解答例) 有史前のラトトリ王の時代、すなわち後4世紀頃に、仏典や仏像が王宮に降って来た、あるいは中央アジアからの遊行僧がそれらの仏典や仏像をもたらしたという伝承が残されている。この伝承に加えて、既にその頃にはチベット周辺のインド、ネパール、中国、シルクロードの諸王国、イスラム化以前のイランで仏教が確立していたことを考慮すれば、おそらくその時代に仏教がチベットに何らかの形で伝わったと考えて良いであろう。有史時代の最初に登場するソンツェン・ガンポ王は、中国の文成公主およびネパールのブリクティー皇女と婚姻関係を結び、二人の王妃からの進言を受けてインド仏教を信奉したと言われている。文成公主は婚姻の際、インドで制作された釈迦牟尼像をチベットに持参して首都ラサに設置した。ソンツェン・ガンポ王は、釈迦牟尼からチベット人の仏教改宗を委託されたと言われる観自在菩薩の化身であると信じられていることから明らかなように、チベットへの仏教伝播に大きな貢献を果たした人物である。
- 2 (解答例) 皇帝〔ソンツェン・ガンポ〕と中国の王妃、文成公主(680年没)との婚姻は、首都ラサにおける貴重な釈迦牟尼像の設置を伴うものであったと信じられている。その像は王妃の嫁入り道具として中国から持参されたものであり、ブッダ自身の生き写しとしてインドで作成されたものであると言われている。

## II (採点の着眼点)

## (1) アートマン

ウパニシャッドのアートマン思想(「念想」「等置」の概念、微細なる「有」「あらず、あらず」、輪廻の主体など)、仏教の反アートマン(無我)思想、ニヤーヤ学派のアートマン存在論証、ヴェーダーンタ学派のアートマン論(シャンカラの相互付託論など)などに言及し、正しく論じていること。

## (2) トリヴァルガ

トリヴァルガ(アルタ・カーマ・ダルマ)のそれぞれの特質、『マヌ法典』や『アルタ・シャーストラ』の説、四住期との関わり、「三つの負債」との関わりなどに言及し、正しく論じていること。

## (3) アーガマ(聖典)

ヴェーダ聖典(非人為性など)、仏教の初期經典(ニカーヤ)、ジャイナ教の初期聖典、正しい認識手段(プラマーナ)の一つとしてのアーガマ(もしくは信頼できる人の言葉)などに言及し、正しく論じていること。

## (4) 三性説

『解深密経』、『中辺分別論』、『唯識三十頌』などの初期瑜伽行派文献に依拠して、遍計所執性・依他起性・円成実性のそれぞれの特質、唯識思想やアーラヤ識説との関わりなどに言及し、正しく論じていること。

## (5) 縁起

初期仏教の縁起思想(十二支縁起の成立など)、アビダルマ仏教の縁起思想(三世両重の縁起)、中観

派の縁起思想（縁起＝空性＝中道）などに言及し、正しく論じていること。

(6) プラパンチャ（戯論）

言語的多元性、ナーガールジュナの『中頌』に説かれる「戯論寂滅の縁起」、無自性＝空性の思想との関わりなどに言及し、正しく論じていること。

(7) 菩提心

大乘仏教における菩提心の特質（一切衆生の救済を目的とした菩提獲得の意志）、大乘仏典（浄土三部経、般若経、華嚴経など）、六波羅蜜や菩薩思想との関わり、菩提心の類型（勝義・世俗、発願と行）などに言及し、正しく論じていること。

(8) バクティ

『バガヴァッド・ギーター』のバクティ・ヨーガ、プラーナ文献のバクティ思想（最高神の恩寵、クリシュナ神の物語）、ヴェーダーンタ学派ラーマヌジャのバクティ思想などに言及し、正しく論じていること。

(9) 『マハーバーラタ』

二大叙事詩、物語の内容（バラタ国の王位継承、クルクシェートラの戦争など）、第6巻に含まれる『バガヴァッド・ギーター』などに言及し、正しく論じていること。

分野

倫理学

## I (英語問題)

## 問 1

2つの発言に、内容に関する違いはない。どちらも同じことを述べている。しかし、その発言をおこなっている際の話者の感情が異なっている。前者は、道徳的否認の感情が伴っているのに対して、後者にはそのような感情が伴わない。

(内容には違いがない+話者の感情に違いがある)

## 問 2

しかし、厳密に言えば、彼が私と矛盾することはありえない。というのも、特定のタイプの行為が正しいとか間違っていると発言する際、私は事実についての言明をおこなっているのではなく、自分自身の心の状態についての言明をしているのですらないからだ。私は単に、特定の道徳感情を表現しているだけである。そして、表面的には私と矛盾しているように見える男は、単に自分の感情を表現しているだけである。よって、我々のどちらが正しいのかと問うことには、はっきりいえば意味がない。

## 問 3

- ・ 著者の道徳判断の分析の要約ができています。  
(道徳判断＝話者の感情の表現であり、事実の問題ではないということ)
  - ・ 自分の考えが著者と同じか異なるか明言していること。
  - ・ 自分の考えを指示する論拠を、論理的に提示できているかどうか。
  - ・ 具体例(もしあれば)に説得力があるかどうか。
- 等をふまえた上で、論点ごとに評価する。

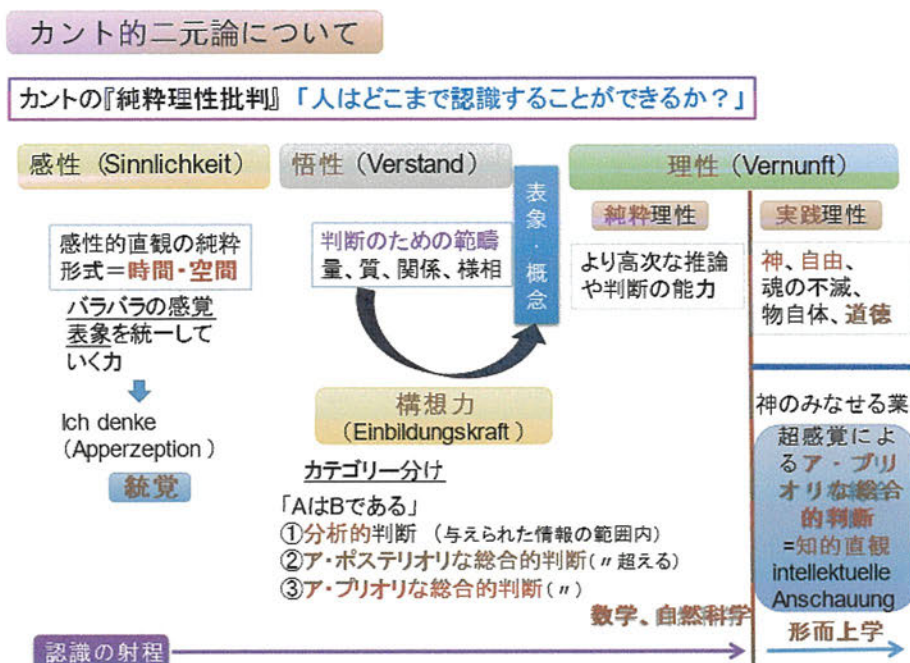
広島大学文学部編入学試験 筆記試験 解答例又は出題の意図等

分野	倫理学
----	-----

II (日本語問題)

- 問1 人物名 A 西田幾多郎 B 和辻哲郎  
 著作名 A 善の研究、働くものから見るものへ B 人間の学としての倫理学、風土など

問2 古代から連綿と深化・継承されてきた「特殊と普遍を架橋する垂直軸の思考」は、近代哲学において最も影響力のあったカントによって、わたしたちの認識に限界が設定されることになった(かれがア・プリオリな総合判断とみる数学や自然科学が認識の極に置かれた)。それゆえ、近代以降、誰もがわかる「一般」としての事実領域と、事象の本質を含む価値領域とを分断する見方が諸学に広がりを見せることになる。下図の構造を語られていれば評価をしていく。



問3 本文に書いた次の表現を具体的に解説している。

西洋近現代知に顕著な「水平軸の思考」は、現象の可視的な事実や功利的な結果に判断の主眼を置き、合理的な論理や思考を重んじる。一方、「垂直軸の思考」は、古来、こうした「水平軸」的な〈相対主義〉〈一般化論〉〈功利主義〉を根拠とする「分ける思考(主観と客観、特殊と普遍、個と全体、心と体、知と徳、知と行為)」に対して、不合理な情意を含む総合的な〈主体変容の知〉をめざしてきた。

- ・世界理解において、普遍と特殊の即応関係を見る。部分である人間は、全体である世界と現存在の上では同一でないが、本質の上では同一である。世界という全体はその一部である人間の中にそっくり包含されている。具体的で個別的なマイクロコスモスとすべての可能的対象の統一としてのマクロコスモスとの対応＝万有在神論に立つ。
- ・知情意・身体・行為のホリスティックな垂直軸的な変容。
  - ・自己意識への注目(汝自身を知れの道)。
- ・外なる相対的次元を超える思考。
- ・高次の自己意識に到達するためには固執する自己意識の否定が不可欠。

分野

中国思想文化学

問一

(一)

王子比干は身を殺して以て其の忠を成し、尾生は身を殺して以て其の信を成し、伯夷叔齊は身を殺して以て其の廉を成す。此の四者は、皆天下の通士なり。豈に其の身を愛まざらんや。為へらく、夫れ義の立たず、名の顯らかならざるは、則ち士之を恥づ。故に身を殺して以て其の行ひを遂ぐるなり。

(二)

以上のことから考えると、卑賤や貧窮は、士が恥とする所ではない。そもそも士が恥じるのは、彼を世の中が忠を推す際に挙げられず、信を推す際に挙げられず、廉を推す際に挙げられない事である。忠・信・廉の三つを身に供えていれば、その名は世に伝わり、日月とともに名は長く生きながらえ、天地によつて葬られることもなく、桀や紂のような乱れた世にあつても、それに左右されない。そうであるなら、士は生を嫌悪して死を楽しんだり、富貴を嫌悪して貧賤を楽しんだりするわけではない。理にかなったものであれば、自分に尊貴が及ぼうとも、それを拒まないのである。

(三)

「富を求めることができる世の中ならば、下級役人でもかまわない。そうでなければ、自分の好きなように生きる」という『論語』の主旨にそつて説明できるかを問う。

(四)

『韓詩外伝』は前漢の韓嬰の著作であり、『詩経』を経文として説話を解釈するという形態を取っている。一般的な『詩経』の注釈書として『韓詩内伝』もあつたが現在には伝わっていない。本書は本文で書かれており、斉詩・魯詩と合わせて三家詩と呼ばれている。なお現在残っている『詩経』は毛亨による注釈であり、古文『詩経』をテキストとしたものである。

問二

(一) 莊子の人物、『莊子』の構成や思想内容などに言及すること。

(二) 五経の内容、注釈の歴史などに言及すること。

(三) 程明道・伊川の人物、思想内容などに言及すること。

(四) 王陽明の人物、思想内容などに言及すること。

(五) 日韓清の関係、対欧米、アジア侵略への対抗などに言及すること。

### 問Ⅲ

(1)

「辛勤的小蚂蚁」以下…

勤勉な小アリは自分に合った仕事をぜひとも見つけたいと思い、そこで、仕事探しの旅に出かけた。

「从这件事」以下…

このことを通じて、小アリは悟った、何事にせよ、頑張り続けて、弱気になりさえしなければ、自分に合った場所を必ず探し出せるのだと。

(2)

① 你的手指太小了，根本无法打字啊！

② 你回去准备一下，明天就可以来上班了！

(3)

小アリはバスに乗って町へ行き、まずはセメント工場に行ったが、体が小さすぎて体力を要するこの仕事はできないと大熊工場長に断られてしまった。次に新会社に行ったが、手指が小さすぎてタイピングができないと白兔社長に断られてしまった。宝石店でも、そんな小さな体では悪人を追い払えないと門番の獅子に言われて、仕事を得ることはできなかった。最後に郵便局に行ったところ、受取人が不在でも隙間から郵便物を届けられる体の小ささを白鳩局長に買われて、ここで働くことができるようになった。

(4)

小蚂蚁找工作



分野

日本史学

問一 次の(一)～(三)の問いに答えよ。

- (一) 在国の国司で最上位の者は受領と呼ばれ、任国を私領地化して富を蓄えたが、その厳しい支配に対し郡司・百姓に訴えられることもあった。また受領の中には、貴族・寺社に財物を寄進してその地位を獲得する「成功」もおこなわれた。
- (二) 十世紀後半に源信が『往生要集』を著し、仏の救いも及ばない末法時代の到来と、念仏による極楽往生を説くことで浄土教が社会に広まり、十一世紀半ばには藤原頼通が平等院鳳凰堂（阿弥陀堂）を建立し、浄土の世界を表現した。

- (三) 「在庁官人」（読み）ざいちようかんじん

（意味）地方豪族から登用された国府（国衙）の役人。

「国人一揆」（読み）こくじんいつき

（意味）主に地頭出身の国人が將軍・守護など上級権力に対して結集したもの。

「枯山水」（読み）かれさんすい

（意味）砂の文様で水の流れを表現する造園手法で、禪宗庭園の特徴。

問二 次の(一)～(三)の問いに答えよ。

- (一) 鎌倉幕府の財政基盤は関東御領や関東御分国などの荘園・公領だが、室町幕府のそれは国内各地の御料所のほか、守護や地頭に対する課税、さらには段銭・棟別銭・関銭・土倉役・酒屋役、そして日明貿易に伴う利益などがあつた。

- (二) 日明関係は明皇帝と室町幕府將軍との一元外交。日朝関係は朝鮮国王と室町幕府將軍だけでなく地方大名・領主、対馬島主の宗氏などとの多元外交。

- (三) 「借上」（読み）かしあげ

（意味）鎌倉時代の高利貸し業者。

「得宗」（読み）とくそう

（意味）鎌倉時代の執権北条氏の家督を継ぐ嫡流家。

「地頭請」（読み）じとううけ

（意味）地頭が荘園領主に対して定額の年貢納入を請け負うこと。

分野

日本史学

問三

(一) 村請制

(二) 寺請制度のもとでは人々はいずれかの寺社の檀家となることが義務付けられ、村ごとに信者情報を記した宗門改帳が作られた。これは各人がキリスト教徒でないことの証明に加えて、事実上の戸籍の役割も果たした。

問四 江戸時代には、人々は武士、百姓、町人（商人と職人）などの諸身分に分かれていたが、身分制の廃止により、武士は士族、そのほかは平民となった。えた・非人といった被差別民の呼称を廃して職業などを平民同様とする解放令も出されたが、社会の差別意識は根深く残った。それまで武士が独占していた軍事力については、一八七二年の徴兵告諭と翌年の徴兵令によって、二〇歳以上の男子から一定数が兵役に就くこととなった。

分野	東洋史学
----	------

[I]

著作権保護の観点から、公開しておりません。

田中 仁(編),『21世紀の東アジアと歴史問題—思索と対話のための政治史論』法律文化社, 2017年, 3頁

分野	東洋史学
----	------

## 〔Ⅱ〕

唐が907年に滅亡した後、華北では五代の諸王朝が興亡する。そのうち、後唐・後晋・後漢の皇室はテュルク系の沙陀であった。後周とそれに続く北宋の皇室は漢人であるが、建国時にその軍力を支えたのは沙陀の軍団であった。他方、唐後期よりモンゴル高原東南部では遊牧民のキタイが勢力を強め、907年に耶律阿保機がその勢力を糾合する。キタイはマンチュリアの渤海を滅ぼし、モンゴル高原も勢力圏に収めた。二代太宗の時代の936年には後晋の建国を援助した見返りに華北北部の燕雲十六州を獲得する。その後後晋を滅ぼしていったん華北を領有し、遼と号するが、華北統治は成功せず撤退した。1004年には北宋と澶淵の盟を結び、双方を皇帝と認め合うとともに、国境を画定して安定した関係を構築し、キタイは北宋から歳幣として毎年銀・絹を獲得した。この間、河西に拠ったタングートは西夏を建国し、キタイに臣属しつつ、北宋に臣下の札を取る代わりに歳賜として絹・銀・茶を獲得した。マンチュリアに興ったジュルチェンは、12世紀に強大化してキタイと北宋を滅ぼし、華北全土も領有し、金と号した。北宋の皇族が南宋を復興すると、交戦した後に和議を結び、秦嶺山脈・淮河を国境とし、金は南宋から歳幣として毎年絹・銀を獲得した。1206年チンギス・カンがモンゴル高原の遊牧民を統一し、金・西夏を滅ぼした。モンゴルは、クビライの代に、元と号し、南宋を滅ぼして中国全土を版図に収めた。(608字)

分野	東洋史学
----	------

## 〔Ⅲ〕

## (1) 士大夫 (北宋・南宋時代)

広義には、儒学の教養を身につけた読書人・知識人を指し、当時の政治的・社会的指導者層を担った。狭義には、科挙出身の文人官僚を指し、新興地主や有力商人も多く含まれていた。

## (2) 集史

フレグ・ウルスの宰相ラシード・アッディーンが編纂したペルシア語の歴史書。彼が仕えたモンゴルの歴史のみならず、ユーラシア世界の諸集団の歴史を叙述し、世界初の世界史とも称される。

## (3) 対華二十一ヶ条要求

1915年1月に日本の大隈重信内閣が中国の袁世凱政権に突きつけた要求。第一次大戦の間隙にドイツの山東権益の継承、南満洲・東部内モンゴル等の権益の拡大を狙った。袁政権は、中華民国の独立を無視した「希望条項」以外を受諾した。

## (4) 周恩来

中国共産党の指導者の一人。1930年代に毛沢東を支持して党内での地位を固め、1949年の中華人民共和国の成立とともに首相となった。死去する1976年まで首相の地位を保ち、内政・外交にその手腕を発揮した。

## (5) 日本軍政 (アジア太平洋戦争期)

軍政とは戦争・内乱などの緊急時に軍が行政を担当することを意味する。アジア太平洋戦争期、日本は戦争遂行のための資源確保、治安維持、日本軍への戦争協力などを目的として、占領した東南アジア地域の内、インドネシア・フィリピン・マレーシア・ビルマなどで軍政をしき、親日的な人物を軍政機関に登用したりした。

広島大学文学部編入学試験 筆記試験 解答例又は出題の意図等

分野

西洋史学

I 語句説明 (選択 3 問)

西洋古代～近現代の基本的な知識を問う。解答例は各種辞典類を参照されたい。

II 英・独・仏文全訳 (選択 2 問)

英・独・仏語のうち二か国語の読解能力を問う。

II-1

1603 年までに、海賊や他の不法な略奪の仕方は、ブリテン諸島海域における海上での活動として十分に確立されていた。過去にたびたび、海上における略奪はコミュニティの広範な支持を受け、また時には統治者や彼らの官吏の認可を受けて広く行われていたのである。しかしながら、17 世紀初頭に、イングランドの海賊は、その範囲や影響力が示しているように、その激しさにおいて新たなレベルに達した。長期にわたるスペインとの戦争ののちに、海賊や海上の掠奪者とともに大西洋や地中海の航路を縄張りとしたのであった。ジョン・ウオードのような海賊の船長は彼らが商業交易にあたえた損害の大きさのみならず、イングランドの礼儀作法や慣習に抗うあるいは無視するような彼らの生き方においても、国際的な悪名をはせていた。海賊は貧困で職にあぶれた船員、さらに様々な経歴を持つ移動性が高く野心的な冒険者に雇用機会を提供した。他方でジェームズ 1 世の新たな統治体制に深刻な問題をもたらすことになった。こうした状況下において、17 世紀初頭はイングランドの海賊の発展にとって重要な段階となり、かつてのブリテン諸島海域における略奪の仕方は、海洋での略奪の急速な発展により影が薄くなり、またその略奪のための組織ややり方は、海賊の振る舞いやそれへの対応の変化をともなっていたのである。

II-2

f. 「神殿の書」

また、いかにして神殿は建てられるべきか、そして、いかにしてそこにおける儀式は組織されるべきか、という問いも、組織的な形において、エジプト人によって叙述された。このことは、あるエジプト人の論文のテーマであり、それを J. F. Quack が扱い、「神殿の書」と名づけた。その長いテキストのうち、今日までにほんのわずかな文章のみが刊行されている。注目すべきは、この書物がヒエラティックでもまたデーモティックでも伝えられたということである。デーモティック版は、その場合、ヒエラティック版の翻訳であり、それは、その側において、少なくとも中王国時代まで遡ることが出来るだろう。第 2 王朝の王、ネフェルカソカルさえも、その神殿の書の中で言及されている。

II-3

小教区生活こそが農民の連帯性の基本的な形態であるというのは、伝統的にキリスト教が勝利をおさめた黄金期とみなされている中世が問題となるときに直ちに思い浮かぶ考えである。実際、それは、村落の集団性を最も可視的に表現している。ミサは毎週日曜日に教会に村民を集めたから、最も頻繁であったし、宗教的祝日、行列、司教の来訪に際しては、最も厳粛な表現でもあった。個人の人生の主要な出来事、ことに地元に着した出来事もまた、小教区の枠組みで生じた。すなわち、洗礼、結婚、近親者や本人の埋葬がそれである。小教区共同体は、村落の集団性の不可欠な形態の一つなのである。

## 広島大学文学部編入学試験 筆記試験 解答例又は出題の意図等

分 野	文化財学
-----	------

問Ⅰ 文化財学（美術・工芸・建築）分野を専攻する上で、当然知っていなければならない基礎知識を問う。解答例は、各種辞典等を参照されたい。

問Ⅱ 図像（図様）と様式は、仏教美術研究に欠かせない二大要素である。特に密教関係では、表された姿形の分析により、多くの情報を得ることができる。作品の正確かつ詳細な観察から当初の状態を復元し、その特徴を経典儀軌や図像集などの事相書と突き合わせ、また現存遺例をも参照して、その作品がどのような意図の基に制作されたかを探究する。本学文化財学分野2年生で学ぶ方法論を、どの程度わかまえているかを問う。

問Ⅲ 和様・唐様（禅宗様）・天竺様（大仏様）とは、寺院建築に用いられる主要な建築様式であって、建築史の研究を進める上で当然のごとく知っておくべき内容と言える。奈良時代に大陸より伝わった建築様式が時間をかけて日本化した和様、鎌倉時代に大陸より伝わった唐様と天竺様、それぞれの建築様式は構造や細部意匠に明確な相違があることが知られる。ここでは本学文化財学分野2年生で学ぶ内容が、どれほど理解できているのかを問う。

分野

日本文学語学

第一問

日本語学に関する基本的な術語の意味を正確に理解しているかを問う設問である。

【連濁】複合語の後部要素語頭の無声音が有声化する現象をいう。但し、後部要素にあらかじめ濁音がある場合は連濁せず、これをライマンの法則という。これらについて「あめ」＋「かさ」↓「あまがさ」、「あき」＋「かぜ」↓「あきかぜ」などの適切な例を挙げていれば正解とする。

【口蓋化】子音が調音される際に、接続する音声の影響を受けて前舌面が硬口蓋に向かってせり上がる現象をいう。例として、母音[ɪ]に前接する子音が口蓋化すること等を挙げていれば正解とする。

【日本漢字音】中国語から輸入した漢字音が日本語の音韻体系の影響を受けたもので、日本語独自の発音を含む。漢音、呉音、唐音が主要な日本漢字音で、これらの特徴が説明できていれば正解とする。また、日本語の音節構造に応じて開音節化されること、呉音と漢音の位相の違いなど、日本漢字音の特徴を説明している答案も正解とする。

【間接受動態】日本語にみられる受動態の一つ。動作の直接的な受け手が存在しない受動態で、別名を「迷惑の受身」ともいう。対応する能動文が存在しないことを説明し、例として「死なれる」「泣かれる」などが挙げてあれば正解とする。

【ヘボン式ローマ字表記】幕末期に医師・宣教師として来日したジェームス・カートイス・ヘボンが編集した『和英語林集成』の見出し語のローマ字表記に用いられた表記体系をいう。現在ではパスポートの氏名表記など、国際的な場面で用いられることが多い。他のローマ字表記（日本式・訓令式）との相違を説明した答案も正解とする。

【オノマトペ】音や状態を音で象徴的に表現した語で、それぞれ擬音語、擬態語という。「はらはら」「ばらばら」「ばらばら」など、音のイメージにより受ける印象が変わること、「はらりと」「はらっと」のように副詞として、また、「オラつく」「ジワる」のように動詞として使われることもあることなどが説明されていれば正解とする。

【役割語】特定のキャラクターの特徴を想起させる言葉遣いをいう。老人語、博士語、お嬢様語などが典型的で、アニメ・マンガや、映画の翻訳などに用いられることがある。これらは日常的に使われる言葉ではないが、ステレオタイプとして固定的なイメージがあることを説明できていれば正解とする。



分野

日本文学語学

第二問 (解答例)

(一) 蜻蛉日記 (かげろふ日記、かげろう日記、かげろふの日記等も可。)

(二) 藤原道綱母 (右大将道綱母、道綱母、傳殿母等も可。)

(三) 作者の心中ですでに自分の半生を回顧しており、ああいろんなことがあったなあという感動とともに書き始めたので、「かく」という指示語が文頭に用いられた。(作者はすでに日記の本文を書き終えてから序文を巻頭に置くことにしたので、本文の内容を指して「かく」と書き出した、等も可。)

(四) 自分を指して「人」と言い、「人ありけり」と言うのは、第三者の立場に立った言い方。「けり」は伝聞過去の助動詞で、物語の文体によく用いられるので、作者は自分を物語の主人公になぞらえて三人称でこの日記を書き始めた。「けり」が伝聞過去の助動詞であること、物語を装った書き出しであることに触れていれば可。)

分野

日本文学語学

第三問

近世文学史においてもっとも基礎的な枠組みを問う問題である。

(一)は寛永期の出版活動によつて近世文学が開始され、明治三十年頃までは近世文学の残像が見られること、(二)は近世文学が雅文学と俗文学に分かれること、(三)は享保改革の出版統制が結果的には近世中期の出版を大きく発展させたこと、(四)は近世中期に文化の中心が上方から江戸へと移ったとされていること、以上のような骨子での解答を期待する。

分野

日本文学語学

第四問

出題の意図は次の通りである。

近代の日本文学は、男性優位、男性の書き手を中心に展開された。現代から見れば、明らかにジェンダー不平等の構図のなかに展開した文学である。そのような時代状況下において、なお文学史に名を残した女性の存在、活躍、作品は貴重、稀少と言える。本問では、近代文学を理解するに必須となる基礎的知識の有無とともに、男性中心の当時の文壇・社会を相対化する視点を持ち得ているかどうかを確認する。加えて、これまでの読書量や各作品への理解力・説明を行う力についてもはかることを意図している。ちなみに、明治生まれの女性文学者としては、次のような人物があげられよう。

三宅花圃、樋口一葉、与謝野晶子、長谷川時雨、田村俊子、国木田治子、尾島（小寺）菊子、大塚楠緒子、小金井喜美子、瀬沼夏葉、岡田八千代、水野仙子、平塚らいてう、伊藤野枝、宇野千代、野上弥生子、宮本百合子、網野菊、吉屋信子、神近市子、平林たい子、佐多稲子、林芙美子、尾崎翠、岡本かの子、杉田久女、橋本多佳子、三橋鷹女、中村汀女、星野立子、大田洋子、円地文子、住井すゑなど

（各文学者の文学史的な位置づけ、各文学者の執筆作品名、作品内容については膨大な記述となるため、省略。）

分野

日本文学語学

第五問

(一)

文学潮流としては「自然主義」、作家名は「田山花袋」があがればよい。他に、島崎藤村、徳田秋声、正宗白鳥ら。

花袋の「蒲団」のように、「告白」によって人間の内部世界を露出させることでリアリティを得ようとするが、その分、「平面描写」のような平板な描写となることを指摘すること。

(二)

発表時の文学史的状況（プロレタリア文学の解体、モダニズム文学から新心理主義への展開など）をふまえて、「十九世紀的な客観小説」のような平面的な「客観」描写を古いものと見なし、「作者」が物語に顔を出して饒舌に説明するようなメタフィクショナルな構造をもつ小説の必要性が提言されたことを述べる。

広島大学文学部編入学試験 筆記試験 解答例又は出題の意図等

分野	英米文学語学
----	--------

I

著作権保護の観点から、公開しておりません。

分野	英米文学語学
----	--------

II

- A) 作者 T. S. Eliot  
出典 ‘The Love Song of J. Alfred Prufrock’ もしくは, *Prufrock and Other Observations* (両方とも正解とする。)
- B) 作者 Emily Brontë  
出典 *Wuthering Heights*
- C) 作者 Alexander Pope  
出典 *An Essay on Criticism*
- D) 作者 James Joyce  
出典 *Ulysses*
- E) 作者 John Milton  
出典 *Paradise Lost*
- F) 作者 Jonathan Swift  
出典 *Gulliver's Travels*
- G) 作者 Geoffrey Chaucer  
出典 *The Canterbury Tales*
- H) 作者 William Shakespeare  
出典 *Hamlet*
- I) 作者 William Blake  
出典 ‘The Tyger’ もしくは, *Songs of Experience* (両方とも正解とする。)
- J) 作者 Thomas More  
出典 *Utopia*

(G)-(J)-(H)-(E)-(C)-(F)-(I)-(B)-(A)-(D)

分野

英米文学語学

## III

1. *Walden*

1854年に発表された Henry David Thoreau の随筆。1830年代から60年代にかけて、「自然」を通じて「普遍的な本質」を内部にもつ自己の信頼を重視する超越主義 (transcendentalism) を牽引した Ralph Waldo Emerson と親交が深く、この思想の実践として森に入った。哲学的思想を織り交ぜながら自然と人間の関係を描いたソローは、奴隷解放運動や「市民的不服従」を訴える作品によっても広く知られる。

2. *Beloved*

1987年に出版された Toni Morrison の小説。本作品が執筆された1980年代は、経済思想・政策が重視されるネオリベリズムが台頭し、50, 60年代の公民権運動の高まりを逆行する動きが強まった時代である。技巧を凝らしたモリソンの作品の多くは、奴隷制度や人種差別による身体的・精神的影響やトラウマ、黒人を中心としたコミュニティにおける黒人の経験などに焦点を置く。

3. *The Great Gatsby*

F. Scott Fitzgerald によって1925年に発表された小説。本作品の舞台となる1920年代は、禁酒法の時代であると同時に「狂騒の20年代」と呼ばれ、ジャズの流行、大量消費文化やマスメディアの台頭、モダン・ウーマンの登場によって特徴づけられる享乐的な都市文化が開花し、フィッツジェラルド作品にも大きな影響を与えた。大衆文化の光のみならず影をも描き出したフィッツジェラルドは、モダニズムを代表するロストジェネレーション作家である。

4. *The Adventures of Huckleberry Finn*

米国で1885年(英国では1884年)に出版された Mark Twain の小説。 *The Adventures of Tom Sawyer* の続編ともいえる本作品は、奴隷制廃止から30年後に奴隷制時代におけるハックと逃亡奴隷ジムの関係を描くことで、南北戦争後も南部に根強く残る人種問題を浮き彫りにした。本作品にみられる方言や口語体を用いた文体、シニシズム、ユーモアなどは、トウエイン作品の大きな特徴である。

5. *A Raisin in the Sun*

1959年にブロードウェイで初演された Lorraine Hansberry の戯曲。ハーレム・ルネッサンスの代表的詩人 Langston Hughes の詩に言及しながら、1950年代にシカゴに暮らす労働者階級の黒人家族に光を当てた本作品は、住居をめぐる人種隔離政策など公民権運動時代のさまざまな問題を浮き彫りにした。ハンズベリー作品には、自由や権利を求める黒人の葛藤や苦悩だけでなく、異民族性やホモセクシュアリティをテーマとしたものもある。

6. *Moby-Dick*

Herman Melville が1851年に発表した小説。1850年代前半の「アメリカン・ルネサンス」の代表的作家として知られるメルヴィルは、ロマン主義思想が主張された時代に、「アメリカ文学の独自性」を主張し、人種の多様性、平等の観念、グローバルなヴィジョンなどを提示した。ホモソーシャルな社会を舞台としたメルヴィルの作品には、奴隷制度批判、「アメリカ民主主義」の精神、拝金主義批判などをみることができる。

7. *Invisible Man*

1952年に出版された Ralph Ellison による小説。公民権運動が興隆した50年代に描かれた本作品

は、シュルレアリスムのイメージを多用しながら、近代社会における疎外や自己定義をテーマとした小説である。1920, 30年代のハーレム・ルネサンス、T.S. Eliot や William Faulkner などモダニスト作家の影響を強く受けたエリソンの作品は、黒人であることだけでなく、ひとりの人間として近代アメリカ社会に生きることの意義を探っている。

#### 8. *Ceremony*

1977年に出版された Leslie Marmon Silko の小説。1969年に N. Scott Momaday がピューリッツァー賞を受賞したことで、先住民文学が注目を浴び始めた1970年代に執筆された本作品は、太平洋戦争を背景としながらも、ベトナム戦争を含めた冷戦批判の作品として読むことができる。シルコウ作品の特徴は、混血性や文化的混淆を主題としながら、暴力や差別など現代社会の病を炙り出し、物語や土地との密接な関係性を描いていることである。

#### 9. *O Pioneers!*

1913年に出版された Willa Cather の小説。20世紀前半のアメリカ中西部や南西部を舞台とした小説や短編で知られるキャザーは、リージョナリズムと結びつけられることが多いが、第一次世界大戦を背景とする *One of Ours* など、時代を反映したグローバルな視点も併せ持つ。キャザー作品には、開拓者やヨーロッパ系移民の経験、文学作品やオペラ、男性登場人物の欠陥を克服する女性登場人物などがしばしば描かれている。

#### 10. *The Sound and the Fury*

1929年に発表された William Faulkner の小説。本作品は、1865年に奴隷制度が廃止されながらも、黒人差別が根強く残る20世紀のアメリカ南部を舞台としている。フォークナーの作品の特徴には、「意識の流れ」、極端に長い文、時系列の錯綜、視点の転換など、実験的な手法を駆使しながら、人種、階級、性差をめぐる問題の諸相に斬り込んでいることが挙げられる。

#### 11. “Because I could not stop for Death—”

Emily Dickenson の死後1890年に出版された抒情詩。南北戦争の時代を生きたディキンソンは、19世紀半ばに広まった「大覚醒」といわれる信仰復興運動の最中に、日常生活や社会の出来事を反映した詩を数多く残した。死、愛、自然などをテーマとし、伝統的な詩の作法を破った独特の表現や短い4行詩が特徴的なディキンソンは、Walt Whitman と並んで、Ezra Pound や T.S. Eliot に代表されるモダニズムの詩の先駆者といわれている。



分野	英米文学語学
----	--------

## IV

- (1) 「時間が逆行する幸福な人がいる。」とギャンプ夫人と述べた。「モウルドさん、あなたはそのお一人よ。」
- (2) direct speech
- (3) suspended
- (4) Mrs. Gamp observed that there were some happy creatures whom/who/that time ran backwards with, and that Mrs. Mould was one (of them); ....
- (5) There were some happy creetur as time ran back'ards with, and Mrs. Mould was one (of them); ....

広島大学文学部編入学試験 筆記試験 解答例又は出題の意図等

分野	英米文学語学
----	--------

v

著作権保護の観点から、公開しておりません。

(Stuart Sim, ed. *The Routledge Critical Dictionary of Postmodernism*. Routledge, 1998, p. vii.)

## 広島大学文学部編入学試験 筆記試験 解答例又は出題の意図等

分野

ドイツ文学語学

I.

問1 下線部 (1) 和訳

ハイデルベルクは大学に依存して生きている。住民の五人に一人は学生である。

問2 下線部 (2) 理由説明

緑の斜面の真ん中に位置し、旧市街の上に広がる廃墟の姿がメルヒェンの城のようで魅力的だから。そのあたりの赤い砂岩でできた朽ちた建物や塔や城壁が、多くの人々にロマン主義を想像させる魅力があるから。

問3 下線部 (3) 和訳 17世紀、三十年戦争によって城の破壊が始まった。

問4 下線部 (4) 和訳 今日この城は世界中からおよそ年間百万人ものお客を惹きつけている。

問5 下線部 (5) 和訳 「哲学者の道」はおそらくこの場所の美しさによってインスピレーションを受けたハイデルベルク大学の学生達に由来するようである。

問6 „Philosophenweg“の名前の由來說明

ハイデルベルク大学の学生は大学街に沿って、インスピレーションを受けるような高級住宅街を散歩することがあって、昔、専門科目を始める前に哲学が必修であったことから、その道が「哲学者の道」と呼ばれるようになった。

問7

ア (○)

イ (×)

ウ (×)

エ (○)

広島大学文学部編入学試験 筆記試験 解答例又は出題の意図等

分野	ドイツ文学語学
----	---------

## II

(1) A : seit    B : über

(2) wie

(3) 不平を言う

(4) dass

(5) ドイツ鉄道の鉄道網が世界で最も密であるため。

(6) Züge

(7) つまり実際のところドイツ鉄道は彼女の想像よりもしばしばよいのだ。

広島大学文学部編入学試験 筆記試験 解答例又は出題の意図等

分 野	ドイツ文学語学
-----	---------

### III

各項目の重要な基礎知識である，作品の内容，作者についての情報，成立年代，人物の伝記，主要作品等について4文から5文程度でまとめてあること。内容に応じて点を与える。

広島大学文学部編入学試験 筆記試験 解答例又は出題の意図等

分 野	ドイツ文学語学
-----	---------

IV

答案の評価については以下の点を基準とし、総合的に評価する。

- (1) 論点が面白いのか
- (2) 先行研究を正しく踏まえているのか
- (3) 論理展開に矛盾はないのか
- (4) 文章は明確で、表現に問題はないのか

分野	ドイツ文学語学
----	---------

V

- (1) Ich koche gerade Kaffee. / Ich koche jetzt Kaffee. / Ich mache gerade Kaffee.
- (2) Wenn er zu Abend gegessen hatte, ging er immer spazieren.  
Nach dem Abendessen ging er immer spazieren.  
Nach dem Abendbrot machte er immer einen Spaziergang.
- (3) Können Sie mir bitte den Weg zum Bahnhof zeigen/ sagen?
- (4) Obwohl es draußen sehr kalt war, gab es vor dem Theater viele Menschen.  
Obgleich es draußen sehr kalt war, standen vor dem Theater viele Menschen.
- (5) Ich weiß nicht, wo er wohnt.
- (6) Morgen wird es wohl regnen.

分野

言語学

[I]

① 我々が話したり聞いたりする時には、一つの言語的出力を作り出すという行為を行っている。  
② この行為は、あらゆる種類の異質な要因によって遮られたりすることがある。③ つまり、我々は気が散ったり、飽きたりもするし、咳をしたり、もごもごしたりもする。④ そして、前に聞いたことも忘れていたりすることもある。⑤ 通り過ぎていくバスの騒音で大事な言葉が聞きにくくなることもある。⑥ 言語運用は実際に産み出したり聞いたりする言語に言及するものである。⑦ これに対して、言語能力は我々が言語について知っていることに言及するものであり、言語運用というぬかるみで濁らされる要因によって邪魔されることはない。実際に(1)の長い複雑な文について考えてみなさい。

(1) Who did Keisha say Monique claimed that Suzanne seems to have been likely to have kissed?

⑧ 最初にこれを読んだとき、記憶のようなものややこしさといったようなことがこれを理解する能力に干渉してきたであろう。⑨ 従って、この文の最初の非文法性は、言語運用の問題によるものである。⑩ しかし、考えて少しじっと見てみると、それは本当に複雑なものであるが、かなり標準的な英語の文法的な文であることが分かるであろう。⑪ この時は、英語の文法（または知識）という言語能力にアクセスしていることになる。⑫ もし統語論が知識についての認知科学の一部であるとすれば、我々は言語能力に最も強い関心を向けるべきである。

[II]

・共時態と通時態はという概念は、スイスの言語学者フェルディナンド・ソシュールによって理論化され、彼の死後に出版された『一般言語学講義』で初出した言語分析における2つの異なる補完的な視点である。

・共時的アプローチは、歴史的変遷を考慮せずに、ある瞬間の言語を考慮する。共時言語学は、特定の時点、多くは現在の言語を記述することを目的とする。

・通時的アプローチは、歴史を通して言語の発達と変化を考慮する。通時言語学は通常、歴史言語学的な研究である。

・以上のような点から共時態と通時態を説明すること。

[III]

・「文学」研究とは、文学作品を鑑賞したり、書いた作家がどのように社会を捉えていたのか、またその社会からどのような影響を受けてきたのかなどを、作品を通して読み解くようなもの。

・「語学」とは、個別言語（特に、母語以外の外国語）の運用能力を高める実用的分野であること。

・「言語学」は、言語の構造を科学的に解明する学問分野であること。

・例えば、「言語学」の学問分野には以下のようなものがある。

・歴史言語学は、比較方法により科学的学問として開花する。

・言語構造の研究には、音声学・音韻論、形態論、統語論、意味論などがある。

・言語学には、理論言語学、心理言語学、対照言語学、計量言語学、社会言語学、神経言語学、応用言語学などがある。

・以上のことから、「文学・語学」と「言語学」が全く異なる学問であることを記述すること。